

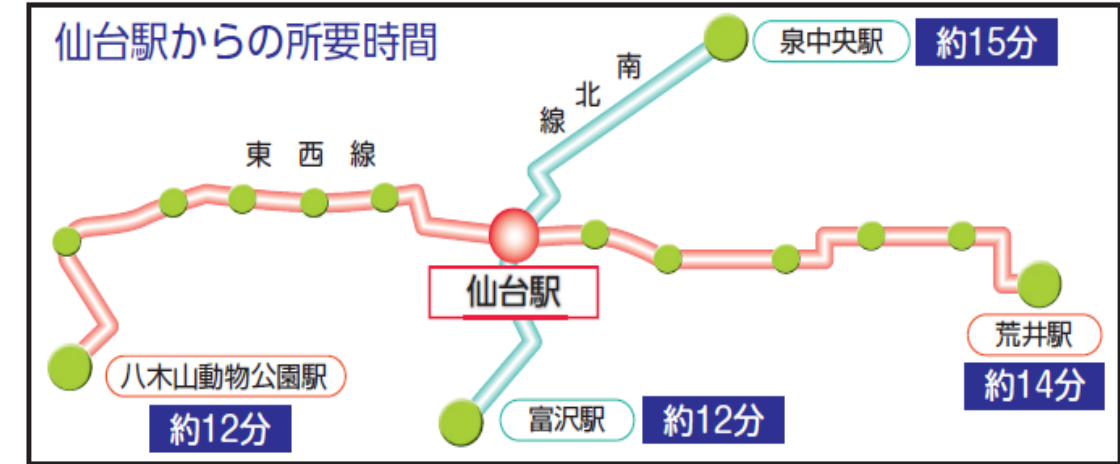
東西線開業に向けた「せんだいスマート」

2015.7.24～7.25 第10回 日本モビリティ・マネジメント会議
仙台市 都市整備局 総合交通政策部 公共交通推進課
後藤 美菜子

1 地下鉄東西線？せんだいスマート？

地下鉄東西線⇒12月6日地下鉄東西線開業予定！！地下鉄東西線開業により、南北線と東西線、さらにJR線が互いにつながりあった、鉄道を機軸とした骨格交通軸が形成されます。これを契機に、イクスカ(ICカード乗車券)の導入や地下鉄とバスの連携により、公共交通の利便性の向上を図ります。

せんだいスマート⇒仙台市は他都市に比べ、県外からの社会移動が大きく、人口に対する学生が多いことから「せんだいスマート」をキャッチフレーズに市民、交通事業者、企業、学校、NPOなどと協働で、鉄道やバスなどの公共交通利用を促進するため、様々なモビリティ・マネジメントの取り組みを実施しています。



2 転入者MM



概要（H20年から実施）

仙台市に転入される方が、市内の各区役所で手続きされる際に、「せんだいスマートグッズ」を窓口で配布しています。公共交通、特にバスの路線情報や利用方法の案内など、転入者の日常の通勤・通学手段が決まる前に、積極的に公共交通に関する情報を提供することで、公共交通を利用していただくことを目的に配布しています。（H27年は17,000部配布）



▲窓口での配布



▲せんだいスマートのグッズ

東西線開業へ向けての取り組み

東西線開業により、地下鉄とバスが連携し日常生活が便利になることを転入者に知ってもらうため、東西線開業後の新たな路線バスの情報を網羅したバスマップを作成します。また、icscaの利用ガイドも同封して公共交通の利便促進を図ります。



「公共交通deスマートに行こう」の動機付け冊子

4 小学生MM



概要（H22～25交通エコモ財団支援事業により教材等を作成）

自家用車の普及に伴い公共交通機関、とりわけ路線バスの利用者は減少傾向にあり、子ども達がバスに乗車する機会は非常に少なくなっています。そのため、仙台市では、交通と環境について学ぶ機会を創出することで、小学生の意識と行動を環境に配慮したものに誘導し、将来の公共交通利用者となってもらえるように交通環境学習を実施しています。

交通環境学習実施の呼びかけや、小学校独自で学習に取り組めるよう、これまで実施したモデル授業の実施例や、先生方が授業内容に応じてアレンジできる電子教材、模擬券売機などを用意し、市内の小学校への普及拡大に取り組んでいます。



▲パンフレット



▲模擬券売機（地下鉄）



▲模擬運賃箱（バス）

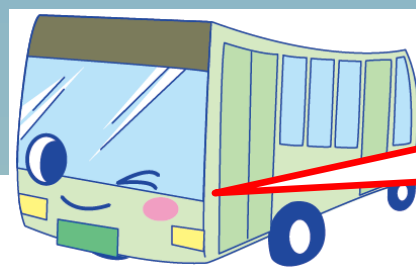


▲電子教材（地下鉄の乗降）



▲七郷小学校授業風景

5 企業MM



概要

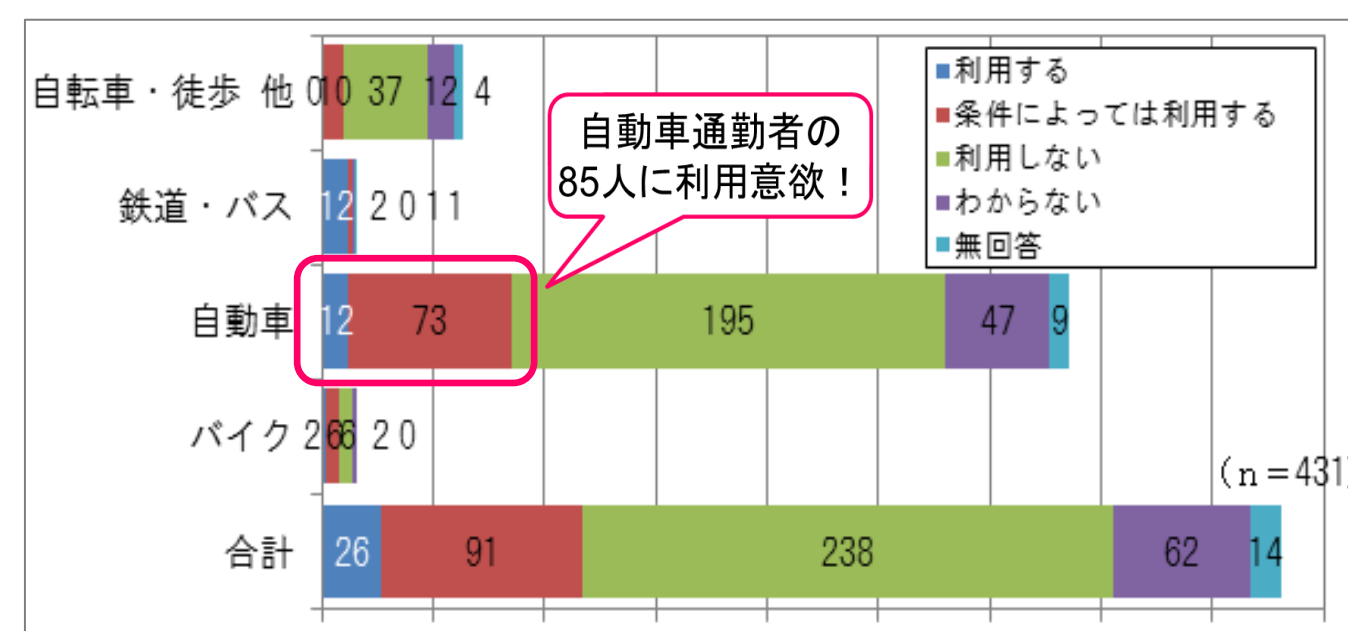
東西線駅周辺にある企業を対象に通勤や営業などの移動を、自動車から公共交通機関へ転換していただくことを目的に実施しています。

東西線開業へ向けての取り組み

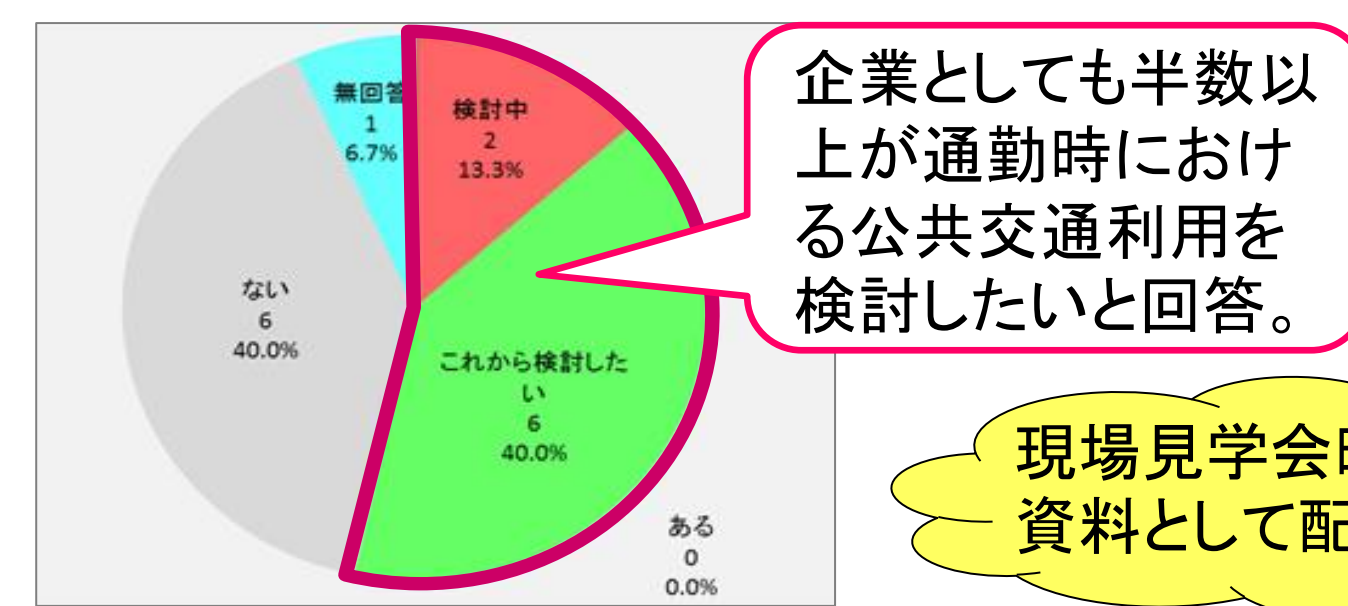
六丁の目駅に近接している仙台印刷工業団地に対し、今年1月に通勤・業務中の移動手段の実態と地下鉄東西線開業後の公共交通の利用についてアンケート調査を実施しました。

その結果、現在8割を占める自動車通勤者のなかにも東西線利用の意向はあるものの、東西線の運行や施設整備、東西線開業と同時に地下鉄・路線バスに導入するicscaの情報が、十分に認知されていないことがわかりました。また、東西線開業後に、公共交通を利用するの通勤を、半数以上の企業が検討したいと回答しています。

このようなことから、公共交通利用の動機づけを効果的に行うために、印刷工業団地の企業および従業員と定期的に意見交換を行いながら利用促進に取り組んでいます。



▲現在の通勤手段×開業後の利用意欲



企業としても半数以上が通勤時における公共交通利用を検討したいと回答。

現場見学会時に動機付け資料として配布しました。



▲駅舎現場見学会風景

